

道徳 1年生 学年通信 5月号

平28①保護者宛第12号
平成28年6月1日
熊谷市立妻沼西中学校

学年の道徳の目標

- ・望ましい生活習慣を身につける。
- ・互いの良さを認め合い、助け合って行動できる。
- ・自ら決めたことを最後までやり抜く強い意志をもつ。

各クラスの道徳

子供達の感想です

「長縄とび」（主題 集団生活の向上）

- * 私たちも今、長縄をやっている心バラバラで跳べなくてもあきらめずに1つになって跳びたいです。(小山美菜)
- * 私は、この「長縄跳び」を勉強して、何事にもあきらめずに頑張るということがわかりました。なので、私はこれから何事にもあきらめずに取り組みたいと思います。(大岡蒼依)
- * 私は長縄などみんなでやる時は心をつなげることが大切だと思いました。私はみんなを助けてあげられる存在でいたいです。(大槻純加)
- * みんなで心をつなげることはとても大切なことだと思いました。長縄で誰かが引っかかってもいばらないでやさしい声をかけてあげたいです。(穂葉璃音)
- * みんなを勇気づける人になりたいです。そして「ぼく」の「足より心」の名言を心に入れて、体育祭優勝したい！(岡田康暉)
- * 今日、この「長縄跳び」をやって、集団生活にはあきらめない心が必要だと感じた。ぼく達も今、長縄で思うように記録がのびせていないと思う。だから、今日学んだことを生かして、回数を重ねていってクラスの絆も深まるといいと思った。(堀越叡人)

「僕の職場体験活動」（主題 公共の福祉）

- * 私は職場体験で働く喜びについても知ったり、考えたりしたいです。働く楽しさがどれだけ楽しいのかも知っておきたいと思いました。(柿沼萌々)
- * いやな事でも真面目にしっかりと取り組めば、うれしい事や自分にとって良いことが起こるのでしっかりとやって良いことが起きなくても自分のためにはなっているかなと思った。(高柳彩)
- * 僕も6月7日～9日職場体験があるので和人(主人公)の良い所を見習いたいです。僕も軽くペダルをこげるよう職場体験を楽しく一生懸命頑張りたいです。(坂田翔吾)
- * 体験でたとえ面倒くさいことがあったとしてもそれを一生懸命やれば人のためになるからやった方がいいんだなと思いました。(角田来夢)
- * 自分がやる職場体験でやりたくない仕事を任されてもがんばってやろうと思いました。(中野友誠)
- * 私は授業を通して働くというのはお金や利益を求めるのみではなく、お客さんの事を考える思いやりも必要であるということに気づけました。(齊藤朱音)

来月の道徳の予定

- ・世界に一つだけの花（主題 自分を振り返る）
- ・つかの間の出来事（主題 人間として生きるために）
- ・認められたクラブ（主題 理想の実現）
- ・心のつながり（主題 友情を深めるには）



保護者の皆様より

道徳通信4月号の返信や、道徳アンケートより、一部を紹介します。

- 中学生になると感想もしっかりしている内容で、自分に置き換えて考えているので良い勉強になっていると思います。私たち大人も手本にされる様、日々勉強です。
- 中学校に入ってから初めての授業参観、みんなしっかりと先生の話を聞いて、発言するときはしっかりと発言ができていて良かったと思います。授業内容もくつをそろえるなど、普段からの基本的な事をしっかりとしていればその他のことも自ずと良くなっていくという事を改めて気付かせてもらいました
- 道徳の授業がこんなに熱心に行われているとは思っていませんでした。道徳の学年通信に自分の子の文があったので何かを感じてくれているんだとわかり、良かったです。
- 普段の生活の中で親と子や近所の方々など人と接する上で、大人の話す言葉の大切な意味やそれに対して、自分がどのように考えて行動をしなければいけないのかを考えるためにも道徳の授業はとても重要だと感じました。
- 我が家でも脱いだ靴はきちんとそろえる習慣があります。玄関を見ればその家庭の様子が一目でわかるからです。靴をきちんとそろえる習慣は簡単なようでとても面倒で難しい事だと思いますが自分の身の回りの整理整頓ができなければ、部活も勉強もできないのは当たり前だと思います。道徳の授業を参観し、家庭での「しつけ」の大切さをつくづく考えさせられました。

この通信をご覧になったの感想やご家庭での実践の様子をお気軽にお書きください。返信欄はきりとして、お子様を通して担任までご提出ください。

き り と り

返信欄